

のぞましい家庭教育のしおり

～家族への感謝 「産まれてきてくれて ありがとう」～

我が家は2男1女の3人の子どもたちに囲まれ、毎日楽しく過ごしています。3人の子どもたちが産まれた日から今までを思い返してみると、いろいろな思い出があります。

まず、長男は産まれてすぐに病院の先生から「心臓の手術が必要です。半年後に手術です」と言われました。それからの半年間は、息子が風邪を引かないように必死でした。その甲斐あって、手術は無事に成功しました。いつも青白かった息子の顔色が、赤く染まっているのを見て、涙があふれてきたことを思い出します。その息子も、今では全力で野球に取り組めるほど元気に育ってくれています。あのときは、想像もできませんでした。

次に、二男は家族のムードメーカーで元気いっぱいですが、実は、誰よりも感受性が強く、涙もろい子です。そのため、いろいろな場所に行っても、その場所に慣れるまでなかなか楽しむことができませんでした。また、戦争をテーマに書かれた『ちいちゃんのかげおくり』や『一つの花』を音読していたときには、途中で泣けてしまい、とうとう最後まで読むことができませんでした。普段は、笑顔いっぱいの二男も、家族と離ればなれになってしまう戦争の悲惨さに、涙なしではいられなくなってしまったのです。音読を聞いている私たちも、胸が熱くなりました。

最後に、工作や絵を描くことが大好きな長女です。長女は時間があると、お菓子の空き箱で郵便ポストや家を作ったり、絵本を描いたりして遊んでいます。祖母の家で、工作に没頭している娘に「器用に作るね」と祖母が言うと、娘は「おばあちゃんの方がもっと器用なのに、不思議なこと言うね」と切り返しました。冷静な娘の言葉に、みんなで顔を見合わせて大笑いしました。

子どもたちとの思い出は、これからもつくられていきます。しかし、私たち親は、子どもたちのできないことばかりに目がいき、子どもたちの小さな一歩の成長に気付かなくなっていきがちです。そんなとき、子どもたちが小さかった頃を思い出してみましよう。初めて小さな命を授かったときのこと、「大好きだよ」といつも抱きしめていたときのこと…。子どもたちは、小さな成長を続けて今があります。今も、これからも、子どもたちの小さな成長に気付ける親でありたいと思います。そして、子どもたちと一緒に私たち親も成長していきたいと思います。産まれてきてくれて、ありがとう。



一人で悩まないで、まず相談を

・刈谷市 **子ども相談センター** ～子どもに関する相談の総合的な窓口～

月～土曜：9時～17時(国民の祝日・年末年始を除く)

☎：62-6313 電話相談・来室相談

・刈谷市 **青少年電話相談** ☎：23-8888 月～金曜 9時～17時

・県教育相談 **こころの電話** ☎：052-261-9671 10時～22時

